

# 滋賀の生涯学習社会づくり推進のための取組

( 滋賀県生涯学習推進本部 )

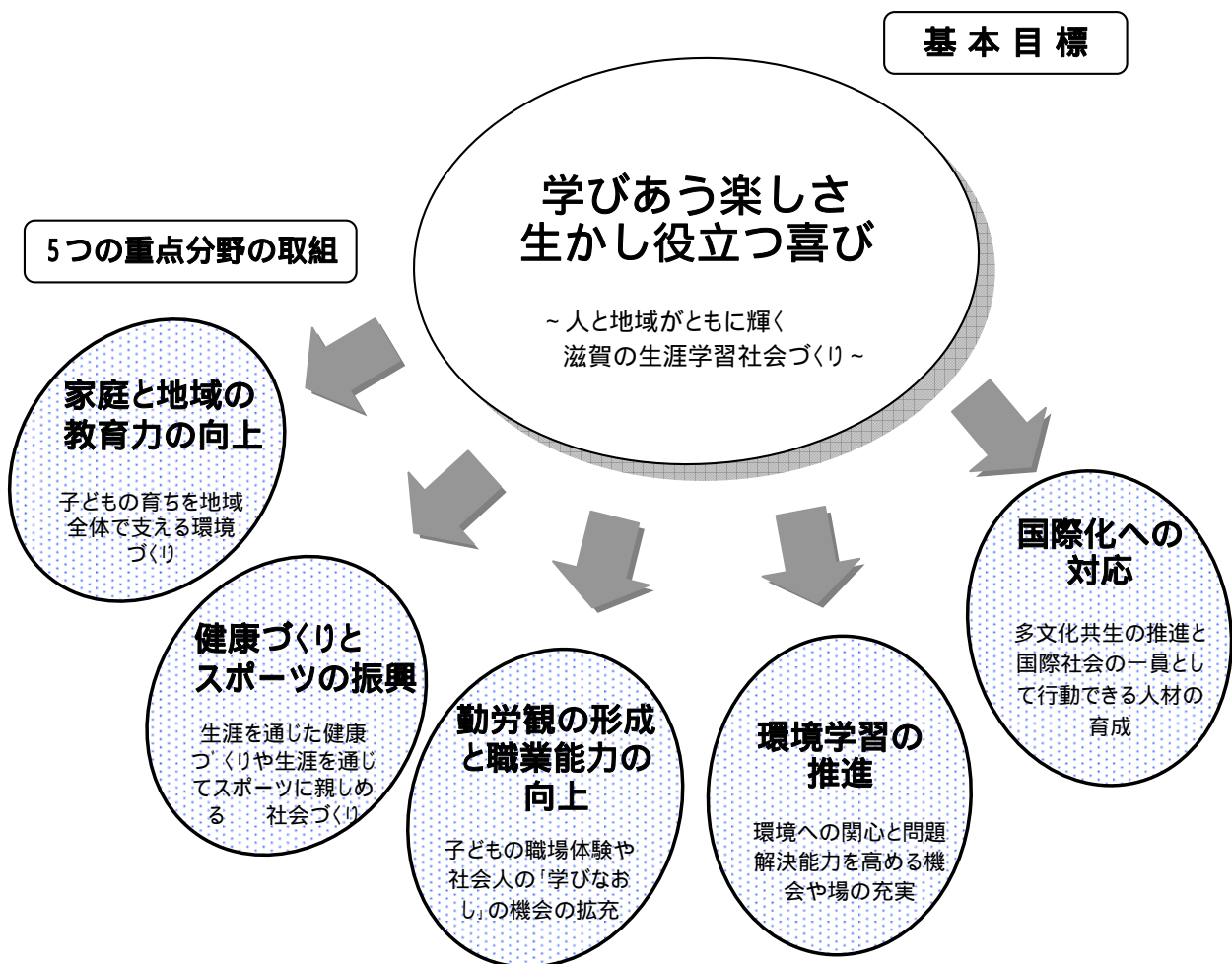
## 1. 滋賀の生涯学習社会づくりを推進するために

新教育基本法では「生涯学習の理念」が新たに規定され、人々が生涯にわたって、あらゆる機会や場所で学習することができ、その成果を生かせる社会を実現することが重要とされました。

県では、平成18年3月に「滋賀の生涯学習社会づくり基本構想」を策定し、いつでも、どこでも、だれでも主体的に学び、あわせて、学びの成果を互いに生かしあう生涯学習社会の実現に向けて、5つの分野について重点的に取組を進めています。

平成20年度は、教育基本法で新たに規定された生涯学習の理念を踏まえ、県基本構想を推進し、滋賀の生涯学習社会づくりのための取組を着実に進めていきます。

### 滋賀の生涯学習社会づくりの方向



「滋賀の生涯学習社会づくり基本構想」(平成18～22年度)

## 2. 平成20年度における5つの重点分野の主な取組

### 家庭と地域の教育力の向上

<b>じんけんフェスタしが</b> すべての人の人権が尊重される社会の実現を目指し、より多くの県民が参画できるイベントを開催し、人権意識の高揚を図る。	<b>&lt; 県民文化生活部 &gt;</b>	<b>4,929千円 &gt;</b>
<b>新 出会い発見！青少年応援事業</b> 様々な地域活動団体の協力を得て、青年が社会の一員として考え、行動できるきっかけを提供する。	<b>&lt; 健康福祉部 &gt;</b>	<b>4,500千円 &gt;</b>
<b>「学校支援ディレクター」設置事業</b> 「学校支援ディレクター」を配置して、豊富な知識と経験を持つ人々が学校等で活躍できる仕組みをつくる。	<b>&lt; 教育委員会事務局 &gt;</b>	<b>2,760千円 &gt;</b>
<b>新 近江水の宝調査活用事業</b> 琵琶湖の周辺に育まれた文化財や景観を滋賀県にしかない資産と位置づけ、これを調査・顕彰し、先人が築いた歴史文化を次代に継承する。	<b>&lt; 教育委員会事務局 &gt;</b>	<b>6,200千円 &gt;</b>
<b>地域安全対策推進事業</b> 子どもを守るボランティア研修を行うなど、地域の子供安全ボランティアの活動を促進する。	<b>&lt; 警察本部 &gt;</b>	<b>1,025千円 &gt;</b>

### 健康づくりとスポーツの振興

<b>食育推進活動事業</b> ライフステージごとの課題に応じた食育を行い、望ましい食習慣を身につけ、生活習慣病を予防する。	<b>&lt; 健康福祉部 &gt;</b>	<b>1,908千円 &gt;</b>
<b>県民主導介護予防地域づくり促進事業</b> 県民が主体的に介護予防に取り組むことの重要性を理解し、地域において介護予防に取り組むための気運を醸成するため、「県民いきいきフォーラム」の開催などを行う。	<b>&lt; 健康福祉部 &gt;</b>	<b>2,392千円 &gt;</b>
<b>全国スポーツ・レクリエーション祭開催</b> スポーツ・レクリエーション活動の一層の普及啓発のため、全国大会を開催する。	<b>&lt; 教育委員会事務局 &gt;</b>	<b>410,650千円 &gt;</b>
<b>生涯スポーツ振興事業</b> 総合型地域スポーツクラブの育成や設立、運営を支援する広域スポーツセンター事業を行う。	<b>&lt; 教育委員会事務局 &gt;</b>	<b>1,617千円 &gt;</b>

### 勤労観の形成と職業能力の向上

<b>女性のチャレンジ支援事業</b> 新たな社会的ニーズに対応して、女性の多様なチャレンジや活躍を支援する。	<b>&lt; 政策調整部 &gt;</b>	<b>2,275千円 &gt;</b>
<b>ものづくり体験教室</b> 若年世代のものづくりへの関心を高めるため、親子を対象としたものづくりを体験する機会を提供する。	<b>&lt; 商工観光労働部 &gt;</b>	<b>1,430千円 &gt;</b>
<b>中学生チャレンジウィーク事業</b> 中学校における5日間の職場体験を通じて、中学生に将来の生き方について考える機会をつくる。	<b>&lt; 教育委員会事務局 &gt;</b>	<b>12,300千円 &gt;</b>
<b>県立学校ジョブサポート事業</b> ハイスクールジョブサポーターを各地域に配置し、関係機関と連携して高校生や卒業生の就労支援を行う。	<b>&lt; 教育委員会事務局 &gt;</b>	<b>8,580千円 &gt;</b>

## 環境学習の推進

**新** 協働による「家庭CO<sub>2</sub>削減プログラム」推進事業 <琵琶湖環境部 10,281千円>  
家庭部門におけるCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、企業との協働による「家庭CO<sub>2</sub>削減プログラム」を普及し、温暖化対策を推進する。

**森林環境学習「やまのこ」事業** <琵琶湖環境部 95,261千円>  
小学校4年生を対象に、森林体験交流施設を活用して森林環境学習を行う。

**笑顔かがやくたんぼのこ体験事業** <農政水産部 12,650千円>  
児童らが、地域の人との協力を得て、農作物を「育て」「収穫し」「食べる」という一連の農業体験をし、農業への関心を高め、生命や食べ物の大切さを学ぶ。

**琵琶湖環状線小学生体験学習プログラム支援事業** <土木交通部 3,050千円>  
琵琶湖環状線を利用し、琵琶湖を中心とした本県の地理、歴史、自然等についての学習を行うとともに、鉄道に親しむ機会を提供する。

**浄水場一般開放** <企業庁 270千円>  
浄水場の見学を通じて、琵琶湖や河川の水が飲料水になるまでの過程を学び、水の大切さを見つめ直す機会を提供する。

## 国際化への対応

**新** 子ども多文化共生広場開催事業 <商工観光労働部 500千円>  
県内の子育てグループ等と協働し、日本人と外国人の子どもたちが集う機会を提供し、多文化共生についての意識を啓発する取組に対して補助する。

**在住外国人用生活情報誌「みみタロウ」発行事業** <商工観光労働部 1,200千円>  
在住外国人向けの生活情報誌の発行に対して補助する。

**国際観光サイン整備事業** <商工観光労働部 3,250千円>  
外国人などの来県者が観光地を周遊できる受け入れ環境を整備する。

**語学指導外国青年招致事業** <教育委員会事務局 125,244千円>  
外国青年を外国語指導助手として雇用し、高等学校の英語教育を充実する。



# 滋賀の生涯学習社会づくりの推進